

『21世紀の資本』

2013年にフランスで出版されたトマ・ピケティ著『21世紀の資本』が、歴史的な経済書として昨今の注目を集めています。

現代の資本主義が抱える格差問題や所得と富の分配システムの在り方について、これまでの定説を一新するとも言える画期的な主張や大胆な提言が展開されている本書。その持論の裏付けのために、200年以上におよぶ膨大な量のデータを15年もの歳月をかけて収集・分析していることが評価されています。通常の経済論文と違って数式がほとんど登場せず、小説などからの引用がしばしば見られるのも特徴です。

本国フランスでの出版当初の注目度はそれほど高くありませんでしたが、著名な経済学者の書評や紹介などからその話題は爆発的に広まり、2014年には資本主義大国アメリカでもベストセラー1位の座に君臨するなど、瞬く間に世界の経済界を席卷しました。日本でもさまざまなメディアで取り上げられていますし、長崎市立図書館でも約100件の予約が入っており、関心の高さがうかがえます。

邦訳でも700ページ超の厚いこの本。読むだけでも苦勞しそうな印象ですが、これほど話題になったために、論旨をわかりやすく解説してくれている関連本も数多く出版されています。

毎日を過ごす中で、世界経済を身近に感じる機会はあまりないかもしれませんが、世の中の経済の仕組みについて理解を深め、私たちの生活にどう繋がってくるのかを考えてみるのも興味深いですね。



『21世紀の資本』
トマ・ピケティ/著
山形 浩生/訳
守岡 桜/訳
森本 正史/訳
みすず書房
J 331.8 ピ



『図解ピケティ入門』
高橋 洋一/著
あさ出版
J 331.8 タ



『トマ・ピケティの新・資本論』
トマ・ピケティ/著
村井 章子/訳
日経BP社
J 331.8 ヒ

民間財産に基づく市場経済は、放置するならば、強力な収斂しゅうりんの力を持っている。

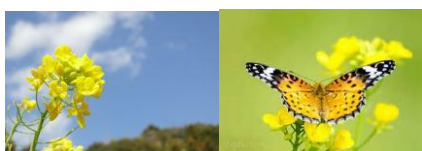
だが一方で、格差拡大の強力な力もそこにはある。18世紀以来の富と所得の分配動学をめぐる歴史的知識の現状を明らかにし、今後の教訓を示す。

トマ・ピケティが書いた経済書『21世紀の資本』の中から、本当に重要な図表をピックアップして解説。効率的かつ的確に『21世紀の資本』を理解できる手引き書。日本語未翻訳のトマ・ピケティの論文(要約)も掲載。

ますます格差を拡大していく資本主義。格差研究の気鋭ピケティが、グローバル金融危機直後からその余波が尾を引く状況下、政治や経済にまつわる時事問題を読み解く。『リベラシオン』連載の時評をまとめたもの。

<図書館カレンダー>

※ 毎週**火曜日**は休館日です。
※ 開館時間 10:00~20:00



4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

<全国コンクール>



<地域コンクール>



調べる学習コンクール受賞

2月28日(土)、第18回「図書館を使った調べる学習コンクール」(全国コンクール)の表彰式が東京都で行われました。

応募総数 57,070 点の中から、大人の部では宮田忠氏が「西郷四郎(姿三四郎)長崎で活躍す～柔道家 西郷四郎の羅針盤～」で「優秀賞・毎日新聞社賞」を受賞しました。宮田氏は、市立図書館で実施している『大人のための「調べる学習」講座』に昨年から参加されており、地域コンクールでも2年連続で長崎市長賞を受賞しています。

小学生の部においても、全国コンクールで長崎市から3名の受賞者が出ており、「図書館を使った調べる学習コンクール」の広がりを感じます。

また、調べる学習指導・支援部門では、地域コンクール主催団体である長崎市教育委員会が「図書館を使った調べる学習活動賞」を受賞しました。

市立図書館では、今年度も『大人のための「調べる学習」講座』及び小学校4年生以上と小学校低学年(親子)を対象とした『調べる学習たいけん教室』を実施します。自主的に学べるように図書館の活用方法や資料の検索方法などについて講習会を行い、また、調べたことを作品にまとめ「図書館を使った調べる学習コンクール」等で発表できるようサポートしていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

<第3回長崎市「図書館を使った調べる学習コンクール」(地域コンクール) 受賞作品>

賞名	一般/学校・学年	氏名	作品名
長崎市長賞	一般	宮田 忠	西郷四郎(姿三四郎)長崎で活躍す ～柔道家 西郷四郎の羅針盤～ ★
長崎市教育長賞	長崎市立諏訪小学校・2年	高木 琉那	おっばいとパンダ ★
優秀賞	長崎市立大園小学校・2年	松田 晟一	ぼくの大すきな 海の生きもの
	長崎市立高尾小学校・3年	西村 想士郎	カはどうして ぼくの血をすうの？
	長崎市立茂木小学校・4年	山口 翼	恐竜について
	長崎南山小学校・5年	池田 皓士郎	2014 ぼくの夢 ★
	長崎市立茂木小学校・6年	山下 日菜	クラゲのなぞ ★
	長崎市立桜馬場中学校・1年	高木 力	感覚のしくみ一錯覚
	長崎市立東長崎中学校・2年	小林 夏実	ペンギンの秘密
	一般	松尾 満里子	壱岐・対馬はなぜ長崎県なのか？ —その経緯と『転県』の可能性を探る—
	一般	椎木 恭二	長崎の以西底びき網漁業の盛衰

★は全国コンクールでも受賞しています

お知らせ

4月から上映会が変わります

定期上映会・特別上映会ともに、毎回たくさんの方にご参加いただいています。より多くの方々に映画を楽しんでいただこうと、上映回数を増やしました。毎月1回、夜に実施していた定期上映会を、4月から毎月4回2作品、曜日不定期で昼の部(14:00開演)・夜の部(18:00開演)に分けて行います。上映会のスケジュールは、ポスターやホームページ・としょかんだよりのカレンダーでもお知らせしています。皆様のご来場をお待ちしております。

「花と人」

以前雑誌で、米国メトロポリタン美術館の大ホールに、美術館が存続する限り生花を贈り続けるという人の記事を読んだことがあります。美しくなんとも贅沢な贈り物です。市立図書館にも池坊・長崎中央支部の方々のご好意で正面入口に花の贈り物をいただいています。

『自分の世界をもちなさい』は華道家・假屋崎省吾さんが講演会で、お話をしながら4つの作品を仕上げた姿が印象的だったので紹介します。‘花は心のビタミン’がご本人のキャッチフレーズ。生けた人の思いと花の持つエネルギーが相まって、見る人の心を動かします。この本も読み手の前向きな気持ちを引き出すきっかけになったらよいと思います。

『シーボルト日本植物誌』はシーボルトが町絵師・川原慶賀らの描いた下絵を元にした図版に、学術的覚書きを付けた本です。本来は専門書ですが、きれいな植物画の本としてみることもできます。目にしたことがある草花の解説を読むと、シーボルト・川原慶賀がどんな人だったのだろうかと興味がわきました。図書館にある本は文庫版ですが、元の本は大きく、復刻本が毎年シーボルト記念館であじさいの季節に展示されています。

司書 土田 とき子



『自分の世界をもちなさい』
假屋崎 省吾/著
PHP研究所
159 カ



『シーボルト日本植物誌』
シーボルト/著
筑摩書房
N472.1 シ



『花を楽しむ地図』
帝国書院編集部/著
帝国書院
T 291 ハ



『ごっそうの名前』
長尾 玲子/作
福音館書店
ちしき絵 47 ナ

「花を楽しむ」

毎年葉桜の頃になると、桜前線を追いかけて旅したいという気持ちになります。そんな花を愛でる楽しい旅をしたい方におすすめする1冊が、『花を楽しむ地図』です。この本には、日本各地で見られる花の時期と写真が地図と一緒に分かりやすく載っています。そして、文学・音楽・歴史の中にある花や、花のある日本の風景画が観賞できる美術館の紹介をしており、花を色んな角度から楽しめます。

また、名前を覚えていくことも花の楽しみ方の一つです。2冊目に紹介する『ごっそうの名前』は、夏のある日、孫の太郎がおじいちゃんに庭で咲いている雑草の名前を覚えてもらうお話です。ほのぼのとした物語を読んでいるうちに、道端で見かける植物の名前を知ることができます。この絵本の絵は全て刺繍で描かれているので、実際にどんな花なのかを想像でき、興味が湧いてきます。絵本の横に植物図鑑を置いて読むとより楽しめます。

スタッフ 櫻庭 理恵

寄贈紹介

長崎東ロータリークラブ児童文庫



長崎東ロータリークラブが、創立 45 周年記念事業の一つとして、読書を通して豊かで明るい人づくり、社会づくりに貢献したいという趣旨で、児童図書 122 冊 (20 万円相当) を寄贈されました。

図書貸出券には有効期限があります

- 登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の 6 ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の 2 ヶ月前から、カウンターにて更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの (免許証や保険証など) の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館ラジオ

毎月第 2 金曜日、午後 2 時、長崎シティ FM (81.3MHz)
「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『日本の大和言葉を美しく話す』
高橋 こうじ/文
東邦出版
2 階一般 810.4 夕

「片恋づま」「下ごしらえ」「ほだされる」「朝な夕な」…。大和言葉の魅力を暮らしに取り入れましょう。日ごろの会話やスピーチ、手紙やメールなどに生かせる、大和言葉を紹介します。

図書館テレビ

毎月 1 回月曜日、午後 6 時 20 分～午後 7 時 NHK 総合
「そこが気になる」のコーナーで放映中！



『また次の春へ』
重松 清/著
扶桑社
F913.6 シゲ

冬を越えたあとに待つ春を、また思う。次の春も、また次の春も、おだやかな暖かい日がつづくといいー。厄災で断ち切られたもの、それでもまた巡り来るもの。喪失の悲しみと再生への祈りを描いた全 7 話を収録。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	サラバ!(上)	西 加奈子	小学館	281	6	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	201
2	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L・スコット	大和書房	258	7	悲嘆の門(上)	宮部 みゆき	毎日新聞社	194
3	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	240	8	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	幻冬舎	175
4	満願	米澤 穂信	新潮社	235	9	物語のおわり	湊 かなえ	朝日新聞出版	149
5	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	215	10	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎	143

(2015年3月15日現在)